

# (8) 稲 城 市



稲城市

## ■ 市の概要(人・企業にとって魅力となる都市ブランド)

稲城市は、人口約9万人の都市で、東京都心の新宿から南西に25キロメートル離れた、南多摩地区の東端にあり、南東部より西部にかけて神奈川県川崎市と接し、北は、多摩川を隔て府中市、調布市に接し、西部は多摩市に接しています。

市域は東西、南北ともに約5.3キロメートル、面積17.97平方キロメートルで北の境界線に当たる多摩川を一辺として、ほぼ三角形をなしています。

## ■ 自然環境

稲城市は、東京都内でも緑が多いのが特徴で、米軍多摩サービス補助施設とその周囲の樹林地、市内4カ所のゴルフ場などのまとまった緑被地があるほか、市街地では梨園を主とした農地が多く分布しています。

また、多摩川、三沢川、谷戸川のほか、歴史のある大丸用水によって良好な水辺空間を形成しており、緑や水辺には多様な生き物が生息しています。

以上のとおり、本市は、豊かな緑と豊富な水にふれあえる自然に恵まれたまちとなっています。

## ■ 交通

市内には京王線やJR線の駅が計6駅あり、京王線の各駅は新宿駅から約30分、橋本駅から約20分で到着でき、南武線の各駅も川崎駅から約40分、立川駅から約20分で到着できます。

一方、道路交通では、中央自動車道につながる稲城インターチェンジが開通しており、交通弱者のためのコミュニティバスや各駅の高架化により踏切がないことによる道路交通の円滑化も進んでいます。以上のとおり、本市は通勤、通学の利便性や市内外における道路交通の周遊性が高いことが特徴となっています。



## ■ インフラの特徴

稲城市は豊かな自然環境に恵まれており、交通アクセスにおいても新宿から電車で約30分という利便性があり、都心の近郊住宅都市という特色があります。

豊かな自然環境としては、多摩丘陵の緑や多摩川の清流に代表され、上谷戸親水公園や大丸親水公園などの水と緑につつまれた公園も数多くあります。

## ● 企業へのサポート

■ 稲城市では、創業や経営、事業資金に関する相談、テーマ別の相談会を開催しているほか、創業元気塾をはじめ、創業や経営に役立つセミナーも開催しています。また、開業資金融資あっせんや小口事業資金融資あっせん制度、駅周辺店舗出店補助事業などによる融資・助成も行っています。

・ 開業・創業支援



・ 開業資金融資あっせん



・ 小口事業資金融資あっせん制度



・ 駅周辺店舗出店補助事業



・ 相談窓口



## ■ 観光

### メカニックデザイナー大河原邦男プロジェクト

稲城市は、メカニックデザイナーとして高名な大河原邦男氏の地元ということで、大河原邦男氏のデザイン作品を稲城市内に設置することや、メカデザイナーズサミットの開催等により、子どもや家族にとって魅力的な街づくりを行い、生き生きとした街を目指す「メカニックデザイナー大河原邦男プロジェクト」を進めています。

このプロジェクトを推進することにより、稲城市の魅力を向上させ、地域の活性化、観光事業の推進、定住者の増加等につなげていきます。



### 自転車のまち

稲城市では、多摩川サイクリングロードや南多摩尾根道路などの自転車を楽しめる場所が豊富にあるため、市内外から多くのサイクリストが訪れます。

また、平成30年にはシェアサイクルを導入し、市内の回遊性を高める環境整備に注力しております。

さらには、東京2020オリンピック競技大会の自転車競技(ロードレース)のコースが市内を通ることが決定しており、大会のレガシーとしてコース沿道となる稲城中央公園内に、市民、公園利用者及びサイクリストの集いの場となる(仮称)サイクルカフェの建設も進めています。

## ■ プロスポーツクラブのホームタウン

### わがまち稲城のヴェルディ

稲城市をホームタウンとするプロサッカークラブ東京ヴェルディは、2001年の東京移転から、稲城市を拠点として活動しています。

これまでホームタウンデーの開催や街頭フラッグの掲出、京王相模原線稲城駅の列車接近メロディーにテーマ曲を導入するなど、相互に連携・支援を行っています。



### 読売巨人軍との連携

稲城市は、読売巨人軍のホームタウンとして連携を進めており、京王相模原線京王よみうりランド駅から読売ジャイアンツ球場を通り、よみうりランドに向かう道路「よみうりV通り」には、道路が完成した平成21年に読売ジャイアンツに在籍していた監督、コーチ及び選手計103人の手形が埋め込まれています。

また、同じく京王よみうりランド駅からジャイアンツ球場へ向かう283段の階段「巨人への道」には、長嶋茂雄氏直筆の「巨人への道」の石碑があり、頂上からは、稲城市内はもちろん、府中、調布方面の景色が一面に広がり、夜景スポットとなっています。



よみうりV通り



選手の手形( #6 坂本選手)



長嶋茂雄氏直筆の「巨人への道」の石碑

上記のような観光スポットがあるほか、市と読売巨人軍は、地域社会におけるスポーツの発展と青少年の健全育成に寄与することを目的とした相互協力協定も締結しており、市内の幼稚園・小学校への訪問事業や稲城市フェスタ、ジャイアンツアカデミーの実施など、相互に連携・支援を行っています。

また、稲城市内に商業施設を併設したファーム専用球場を新設し、野球観戦だけでなく都民の憩いの場としても楽しめる「TOKYO GIANTS TOWN(仮称)」とする構想も計画されています。

